



# いざわ ただし



ともに新しい岩手をつくりましょう!

## ごあいさつ

### 飯沢ただしと千葉じゅんこさん



千葉じゅんこさんが県議選に初当選（盛岡選挙区）されたのが平成27年9月。県議会では私が代表を務める会派「いわて県民クラブ」に入会し、7年間一緒に活動してきました。

千葉じゅんこさんは、女性の働く環境の整備充実、子どもの学力向上、本県農産品のマーケットの新規開拓などに熱心に取り組み、会派の政策審議副会長の役目をしっかりとこなして頂きました。ヤングケアラーの実態調査にも積極的に動かれ、会派全体で共通認識が図ることができました。また、会派全体で行っている市町村ヒアリングにおいても首長さんとのコミュニケーションに抜群の能力を発揮され、期待以上の成果をおさめて頂きました。

じゅんこさんは、この度、知事選という新しいステージに挑戦することになりました。これまでの議員活動を土台にしてさらに大きく飛躍されることを心から期待しております。



そのために私は千葉じゅんこさんの活動を支援する「新しい岩手をつくる会」の同志と共に全力で支援していく所存です。

5月27日に「新しい岩手をつくる会」では基本政策を発表しました。この政策を軸に多くの皆様に共感を頂けるように活動してまいります。ともに新しいいわてをつくっていきましょう。皆様方のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。

岩手県議会議員 **飯 沢 匡**

## HOT NEWS 続報 新笹ノ田トンネルの動向について

令和5年3月16日行われた令和5年予算特別委員会、県土整備部の審査において私の質問に対して田中県土整備部長は新笹ノ田トンネル事業に関して部内で1月中旬に検討を進めることを決定したと答弁しました。これは当局が社会環境の変化を的確にとらえて決断されたものであり、私はこの決定に大いに評価を致します。

私は直近（平成26年～令和4年まで）でも一般質問で6回、決算特別委員会で8回、予算特別委員会で8回、計22回機会ある度に毎回この課題を取り上げており、悲願達成のために力を注いできました。

早速国道343号新笹ノ田トンネル整備に関する検討会議、「第1回 国道343号笹ノ田地区技術課題等検討協議会」が令和5年3月24日（金）に開催され、以下の4点が論点となり、確認されました。

- ① 国道343号全線の中で、約7割の平面線形不良箇所が集中している笹ノ田峠が路線最大のあい路であることを確認。
- ② 笹ノ田峠は、急カーブや急勾配が存在する区間が連続しており、規格の低い道路構造であることを確認。
- ③ 笹ノ田峠には、複数の断層が確認されており、破碎帯が存在している可能性が高いほか、亀裂の発達により脆弱な法面となっている可能性があることを確認。
- ④ 笹ノ田峠では、過去に交通死亡事故が発生しているほか、自然災害や交通事故による通行規制が複数発生していることを確認。

今後、この検討会議において、技術的課題をさらに検討し、概略ルート・構造の検討が進められます。その上で県や識者からなる協議会に国も参加をし、防災・安全に関する検討に対して助言を頂きながら



### 国直轄による権限代行実施の検討を行うための調査

という流れが想定されます。

一日も早い事業採択になるように私も中間管理をしてまいります。

# 飯沢ただし

# 後援会報

討議資料

発行：飯沢ただし後援会



# 増田知事と達増知事を徹底比較分析!

私は、県議会24年の経験を積ませて頂き、お二人の知事の姿を近くで見えてきました。ここにわかりやすく県政主要部門の両知事の手腕について分析評価をしてみました。

	増田知事 (平成7年～平成19年 3期12年)	達増知事 (平成19年～令和5年 4期16年)
① 県政運営	民間力を手本に活用 <b>積極情報発信型</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・県庁を株式会社に例え、株主である県民サービス品質向上を目標</li><li>・組織を目的達成型にフラット化</li></ul>	昭和時代に逆戻り <b>内部管理重視型</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・前副知事が内部管理を完全統括</li><li>・県庁内のベクトルは内向きに</li></ul>
② 産業振興	<ul style="list-style-type: none"><li>・知事が自ら率先垂範して民間企業トップと交換</li><li>・岩手の潜在力を発揮することに挑戦 (例) 木質バイオマスの振興</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・民間企業トップと濃密に交わした形跡なし</li><li>・一次産業振興を進んで語る機会は少ない (例) アマノミクス(知事の造語)など政策に結びつかない発信多し</li></ul>
③ 市町村との関係	<ul style="list-style-type: none"><li>・地方分権を県内でも具現化</li><li>・市町村の県への要望会には常に同席し、課題を共有する努力を惜しまず</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・県要望は振興局長が対応する方式に変更し、後日要点のみ報告を受ける形に</li><li>・首長からは意見交換の場設置希望多し</li></ul>
④ 政府への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・フットワークよく豊富に人脈を活用して党派隔たりなく機敏に対応</li><li>・改革派知事を中心となり政府へ意見提言も</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・I L C実現への活動は鈍い</li><li>・要望提言活動は表玄関からの一方通行</li><li>・全国知事会では重要な役目を負っているが…</li></ul>

その弊害はこんなところに  
議事録をご覧ください

## 千葉じゅんこさんが示しているリーダーとしての3ヶ条

- 1 県民との緊密な対話を進めます
- 2 岩手県をPRするための情報発信を進めます
- 3 行政との公平中立性を維持し、国との連携を進めます

としています。県政に新しい力を注入して、産業を育て、ここ岩手で働けるよう、帰ってこれるよう、岩手を変えていきましょう!





## 前副知事の県立大学理事長報酬額等について追及

●**飯澤匡委員** 岩手県立大学理事長に係る諸問題と県庁内のマネジメントについて伺います。

まず1問目、前任者の任期途中で現理事長を選任した明確なる根拠を示していただきたい。

前副知事である千葉理事長を迎えるに当たり、月額給与が、前任者が62万6000円、その前の年は62万円だったのですが、令和2年からいきなり99万7000円になっている、大幅アップになっているのです。これは、さきの常任委員会では、特別職を迎えるに当たっては、それなりのルールになっているのだという説明です。

ところが、これが決定したのは令和2年3月の理事会で決めたのですけれども、コロナ禍で日本全国、岩手県も経済状況についてかなり厳しい状況が続いている中で、こういう県庁ルールの中で果たしてこういうことは許されるのかどうか。これは一般県民からしてみれば、やはり疑問に思うわけですね。仕事もしていないのに庁内のお手盛りと思われるに仕方ないやり方というのはおかしいのではないですか。これは看板料ですかね。

●**達増知事** 理事長の役員報酬については、県立大学の役員会議での協議を踏まえ、大学が決定することとされており、そして、大学が決定しているわけであります。

この報酬については、地方独立行政法人法に基づき、国及び地方公共団体の職員の給与、他の一般地方独立行政法人の役員報酬、民間事業の役員報酬等の状況を踏まえて決定してきているところであり、現理事長の報酬額についても、こうした考えを基本としながら、これまでの経歴等も考慮して決定したものと聞いておりまして、妥当なものと考えております。

●**飯澤匡委員** 今、一般地方独立行政法人の他県の例も参考にしたと言っていますが、学生数が大体似ている大学を見たら、確かに大体100万円前後というのがあるのです。しかし、ほ

かの大学は、ほとんど理事長と学長を兼任しているのですよ。

それと、鈴木厚人学長は97万4000円で理事長より少ないのですよ。これはかなりバランスを欠いていると思いますよ。これは県民感覚からしたらおかしいじゃないですか。

それで、私は学内への影響が心配です。やはりこういうアンバランスな結果になっているということは、知らず知らずのうちに学内に知れ渡りし、仮に副知事級の特別職じゃない人が来たならば、これは減額するのですか。そういう方針なのですか。お聞きします。

●**熊谷ふるさと振興部長** 理事長の任用に当たっては、民間企業出身者も含めて幅広く検討されるものと考えております。その際には、県立大学が任用予定者の経歴等、それから、国及び地方公共団体の職員の給与、他の公立大学法人の理事長、民間事業の役員報酬等を総合的に勘案して、報酬額を決定するものと考えております。



**質疑を経て：**天下り先の報酬が知らぬ間に1.5倍になっていたこの事案。答弁はまったくの内向きで県民目線になっていないことがお分かりでしょう。私の質問後、県庁内でも多くの反響を今でも呼んでいます。**県立大学の理事長を任命するのは知事。**どうしてバランスの悪いことを知事が容認しているのか理解できません。



あらためて

## 飯沢ただし プロフィール

昭和37年1月3日生まれ、血液型O型

昭和52年3月 大東町立大東中学校卒業

昭和55年3月 岩手県立一関第一高等学校卒業

- ・3年間ラグビー部に所属、高校3年時に部長を務めるが公式戦0勝(涙)

昭和55年4月 成蹊大学経済学部経営学科入学

- ・4年間体育会漕艇部(ボート部)に所属
- ・大学4年時に主将を務める 大学選手権にて舵付フォアで準決勝進出、惜しくも決勝進出を逃す

昭和59年3月 成蹊大学卒業

昭和59年4月 三井倉庫株式会社に入社

- ・同社横浜支店海上作業課に配属、ステベのフォーマンに4年間従事
- フォーマンとは…貨物船の荷役監督責任者

昭和63年3月 帰郷のため三井倉庫株式会社を退職

昭和63年6月 大東貨物自動車株式会社入社

平成5年2月 世界アルペンスキー選手権大会開催

- ・大会期間中通訳ボランティアとして従事(プレスルーム担当)

平成9年1月 大東貨物自動車株式会社 代表取締役役に就任

平成11年4月 岩手県議会議員(東磐井選挙区)初当選!

令和元年9月 6期目当選「いわて県民クラブ」代表に再任

### 【現在の主な役職】

(公) 岩手県トラック協会 顧問

両磐一関トラック事業協同組合 監事

### 【県議会議員連盟の主な役職】

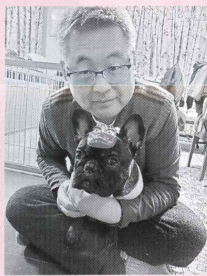
岩手県南・宮城県北県境議員連盟 会長

岩手競馬振興議員クラブ 会長

岩手県議会畜産議員クラブ 幹事長

### 【趣味】

スポーツ観戦、愛犬とのふれあいが心の癒し



## 後援会からのお知らせ

### 後援会事務所開き

7月9日(日)

大東貨物本社駐車場内

時間は追って連絡致します

### 総決起大会

7月23日(日)

一関文化センター中ホール

18時開始

### 県議会選挙告示日

8月25日(金)

### 知事選・県議選投票日

9月3日(日)

皆さんで知事選挙の話題作りを  
してください!

## 飯沢ただし後援会事務所

〒029-0523 岩手県一関市大東町摺沢字街道下3-22

TEL 0191(71)1199 FAX 0191(75)4112

E-mail iizawa-tadashi@lily.ocn.ne.jp

ブログ <http://iizawa-tadashi.seesaa.net/>



ブログ



同級生が描いてくれたイラストです。